

抗議声明

ロシアのウクライナ侵攻に抗議し、即時撤退を求めます

日本の核武装や憲法 9 条改悪は許せません

2022 年 3 月 9 日 消費税をなくす全国の会

2 月 24 日、ロシアはウクライナに一方的に軍事侵攻を行いました。ロシアのミサイル攻撃で多くの死傷者がでています。ウクライナ国民のいのちを奪い、主権と領土を侵すまぎれもない侵略戦争に怒りをこめて糾弾し、ロシア軍の即時撤退を要求します。

ロシア軍はウクライナ南東部のザポロジエ原子力発電所を攻撃し、占拠しました。この原発はヨーロッパ最大級の原発ということです。ロシアとウクライナの戦争で原発が攻撃される、原発のあるところが戦場になるというとても恐ろしいことが起こったのです。風向きによってはウクライナだけでなくヨーロッパ全土、日本にまで、地球規模で被害が広がる危険があります。

そして、ロシアがウクライナへの核兵器による威嚇を行っていることを口実に、日本でもアメリカとの「核共有」の議論をすべきとの主張や提言が、安倍元首相をはじめとする自民党の政治家や日本維新の会からでていることを見過ごすことはできません。

この主張は、歴代政権が国是としてきた「非核三原則」(核兵器を持たず、作らず、持ち込ませず)をじゅうりんし、核兵器禁止条約に象徴される「核のない世界」を目指す国際的な流れに逆行するものです。そして、この事態を利用して憲法 9 条を変えて、日本を戦争する国へすすめようとする勢力の目論見を断じて許せません。

消費税をなくす全国の会は、「消費税、憲法変えれば戦争税」とならないように消費税をなくすために活動している市民団体です。

今こそ国内外の反戦平和を求めるすべての人と連帯し、ロシアによるウクライナ侵略をやめさせるために全力を尽くします。

ヒロシマ・ナガサキ、フクシマ原発事故を体験した日本こそ、一刻も早いウクライナの平和の回復へ、世界の反戦平和を望む人たちと連帯してたたかうことを呼びかけます。